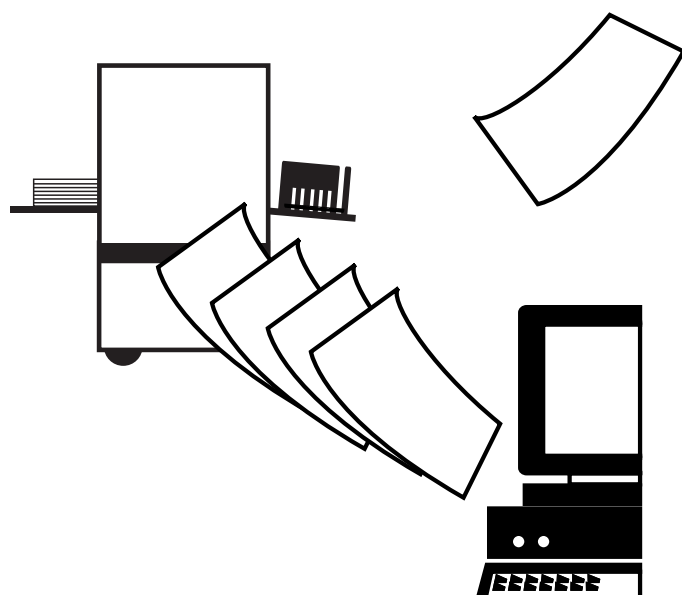




RISO Printer Driver

リソープリンタドライバ取扱説明書

for RP3/RP25/RP215/RN22/RN25/RX/RE Series



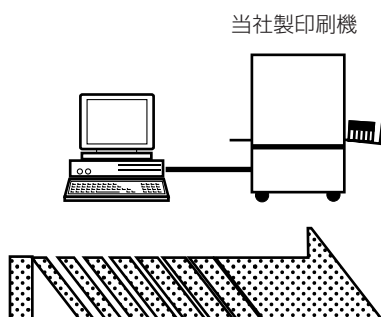
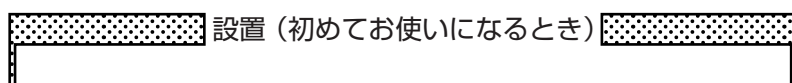
はじめに

「RISO Printer Driver」は、当社製印刷機専用のプリンタドライバです。
本書では、プリンタドライバの基本操作をはじめ、さまざまな機能の使い方を、
対応OSごとに記述しています。また、巻末にトラブル対処法を記述しています。
ご使用になる前に、またご使用中、不明な点があるときにお読みいただき、本製品
とともに末永くお役立てください。

- Microsoft®, Windows®および Windows NT®は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- AppleTalk®, Macintosh®, Mac OS®および漢字Talk®は米国Apple Computer Inc. の商標です。
- RISORINC®は理想科学工業株式会社の日本国内における登録商標です。
- 本文中に記載されているその他の製品名・会社名は、各社の登録商標または商標です。
- 本文中に記載されている画面および内容は、実際の商品と若干異なることがあります。

プリントするまでのながれ

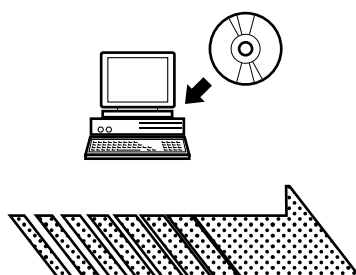
印刷機を初めてお使いになるときは、下の設置手順を行ってください。
設置後は、基本操作の手順を行うことでプリントすることができます。



1 パソコンと印刷機を接続する

パソコンと印刷機を接続します。

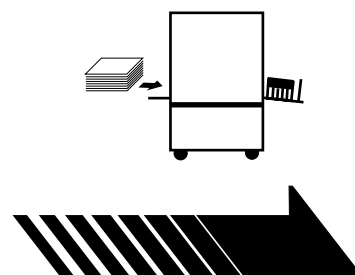
- 印刷機の取扱説明書をお読みください。



2 プリントドライバをインストールする

RISO Printer Driverをパソコンに導入します。

- Windows 98SE/Me編 [P.6](#)
- Windows NT4.0編 [P.11](#)
- Windows 2000/XP編 [P.17](#)
- Mac OS編 [P.24](#)



1. 印刷機の準備をする

印刷機を準備し、プリントする原稿データに合ったサイズの印刷用紙を給紙台に載せます。

- 印刷機の準備方法は印刷機の取扱説明書をお読みください。

基本操作



2. 設定する

プリントしたい原稿データをパソコンで開き、印刷するために必要な設定を行います。

Windows 編

[P.32](#)

Mac OS 編

[P.45](#)

3. プリント指示する

パソコン上の「印刷」ダイアログボックスでプリント指示を行うと、データが印刷機に送信されます。

遠方の印刷機*へ公衆回線を利用してデータを送信する場合は、送信の前に RISORINC 形式ファイルを作成します。

送信には、当社製通信ソフト「RISORINC Manager (Windows 専用)」を使用すると便利です。

* 送信先の印刷機に「リモートモード」機能が必要です。

4. プリント完了

印刷機がデータを受け取り、製版・印刷をします。

もくじ

はじめに	1
プリントするまでのながれ	2
もくじ	4
お使いになる前の準備	5
■ Windows 98SE/Me 編	6
プリンタドライバをインストールする	6
使用環境に合わせて登録する	8
オプション機器登録	8
定形外用紙登録	9
■ Windows NT4.0 編	11
プリンタドライバをインストールする	11
使用環境に合わせて登録する	14
オプション機器登録	14
定形外用紙登録	15
■ Windows 2000/XP 編	17
プリンタドライバをインストールする	17
使用環境に合わせて登録する	20
オプション機器登録	20
定形外用紙登録	21
■ Mac OS 編	23
ケーブルを接続する	23
プリンタドライバをインストールする	24
オプションなどを設定する	26
よく使う定形外用紙を登録する	27
操作のしかた	31
■ Windows 編	32
プリントのしかた	32
[プロパティ] の設定方法	34
[メイン設定] タブ	34
[イメージ処理設定] タブ	39
[その他設定] タブ	41
遠方の印刷機にデータを送信するには	43
■ Mac OS 編	45
プリントのしかた	45
ダイアログボックスの設定方法	47
[用紙設定] ダイアログボックス	47
[印刷設定] ダイアログボックス	49
[その他設定] ダイアログボックス	52
[イメージ処理設定] ダイアログボックス	55
遠方の印刷機にデータを送信するには	56
こんなときには	59
■ パソコン上でメッセージが表示されたら	60
■ 「故障？」と思ったとき	61

お使いになる前の準備

パソコンから印刷機で初めてプリントするには、パソコンと印刷機をケーブルで接続した後、お使いのパソコンにプリンタドライバをインストールし、必要に応じてオプションの設定をしてください。

パソコンと印刷機の接続のしかたについては、印刷機の取扱説明書をお読みください。

■ Windows 98SE/Me 編	6
プリンタドライバをインストールする	6
使用環境に合わせて登録する	8
オプション機器登録	8
定形外用紙登録	9
■ Windows NT4.0 編	11
プリンタドライバをインストールする	11
使用環境に合わせて登録する	14
オプション機器登録	14
定形外用紙登録	15
■ Windows 2000/XP 編	17
プリンタドライバをインストールする	17
使用環境に合わせて登録する	20
オプション機器登録	20
定形外用紙登録	21
■ Mac OS 編	23
ケーブルを接続する	23
プリンタドライバをインストールする	24
オプションなどを設定する	26
よく使う定形外用紙を登録する	27

Windows 98SE/Me 編

プリンタドライバをインストールする

重要

- 印刷機をネットワークプリンタとして使用する場合は、先に「RISORINC-NET」のセットアップをして、お使いのパソコンに「RISO-PRINTポート」を設定しておいてください。詳しくは、「RISORINC-NET」の取扱説明書をお読みください。
- プリンタドライバを削除してから再インストールする場合は、インストールの前に必ずパソコンを再起動してください。

1

【プリンタの追加ウィザード】を開始する

【スタート】メニューの【設定】－【プリンタ】を選択して【プリンタ】フォルダを開き、中にある【プリンタの追加】アイコンをダブルクリックします。

2

【プリンタの追加ウィザード】画面で【次へ】をクリックする

3

【ローカルプリンタ】を選択して【次へ】をクリックする

参考

印刷機がネットワーク経由で接続されている場合でも、ここでは【ローカルプリンタ】を選択します。

4

【ディスク使用】をクリックする

5

「RISO Printer Driver」CD-ROM をパソコンにセットする

6

【ディスクからインストール】ダイアログボックスで【参照】をクリックする

7

「A¥にアクセスできません」と表示されたら、【キャンセル】をクリックする

8

ドライバのinfファイルを選択する

●Windows 98SEの場合…【Japanese】－【Win98SE】－RISOP3.inf

●Windows Meの場合…【Japanese】－【WinMe】－RISODRV3.inf

「ドライブ」欄でCD-ROMドライブを選択し、「フォルダ」欄で【Japanese】を開きます。ご使用のOS名フォルダ内のinfファイルを選択し、【OK】をクリックします。

9

【ディスクからインストール】ダイアログボックスに戻るので、そのまま【OK】をクリックする

10

「プリンタ」リストからご使用の印刷機名を選択して、【次へ】をクリックする

11

「利用できるポート」リストから、印刷機が接続されているポートを選択して「次へ」をクリックする

●パソコン1台と印刷機1台が、パラレルケーブルで接続されている場合：
通常は「LPT1」を選択します。

●パソコンと印刷機が、ネットワーク経由で接続されている場合：
「RISO-PRINTポート」を選択します。

参考

上記は当社純正のネットワークカードを利用の際の手順となります。市販のプリントサーバやプリントサーバOSを利用してのネットワーク接続については各メーカーの取扱説明書の指示に従ってください。
「RISO-PRINTポート」がポートの一覧に表示されない場合は「RISO-PRINTポート」を設定してください。設定方法については、「RISORINC-NET」の取扱説明書をお読みください。

12

プリンタ名を確認して「次へ」をクリックする

参考

既に他のプリンタドライバがインストールされている場合は、新しいRISO Printer Driverを、通常使用するプリンタにするかどうかを選択してから「次へ」をクリックします。

13

「印字テストを行いますか?」と表示されるので、「はい」をクリックする

14

「完了」をクリックする前に、次の事項を確認する

- ・パソコンと印刷機が確実に接続されているか。
- ・印刷機の電源がONになっているか。
- ・印刷機にA4サイズ以上の用紙がセットされているか。
- ・印刷機にエラーが起きていないか。

15

「完了」をクリックする

CD-ROMからファイルがコピーされた後、印刷機で印字テストが行われます。

16

正しく印字テストされたら、画面に表示される確認ウィンドウで「はい」をクリックする

17

CD-ROMをパソコンから取り出す

重要

取り出したCD-ROMは、大切に保管してください。

以上でプリンタドライバのインストールは完了です。
次に、お使いの環境にあわせてオプションの設定をしてください。

使用環境に合わせて登録する

ーオプション機器登録・定形外用紙登録・インク色登録ー

ご使用の環境に合わせて、オプション機器(ソーター、ステープラなど)・よく使う定形外用紙の登録を行います。

1

プリンタフォルダを開く

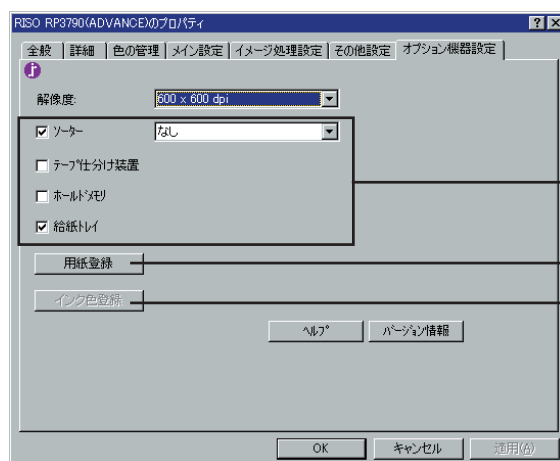
[スタート]メニューの[設定]ー[プリンタ]を選択して、[プリンタ]フォルダを開きます。

2

プリンタのプロパティを開く

[プリンタ]フォルダのRISO印刷機のアイコンを右クリックし、表示されるメニューから[プロパティ]を選択します。

表示されたダイアログボックスで、[オプション機器設定]タブをクリックします。

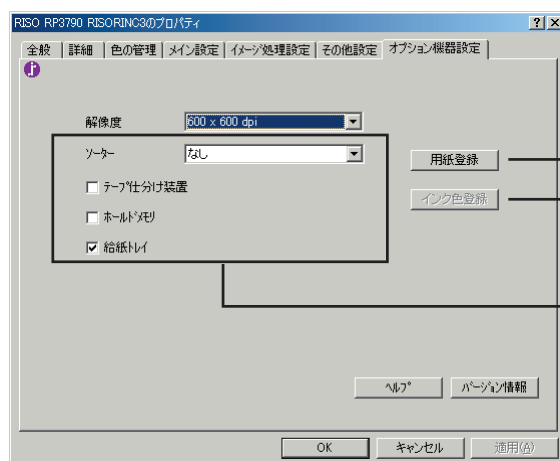


オプション機器登録

用紙登録

インク色登録

Windows 98SE



用紙登録

インク色登録

オプション機器登録

Windows ME

3

必要に応じて登録をする

●オプション機器を登録する

オプション機器が接続されていない場合は選択できません。

[ソーター]	お使いのソーターを選択します。
[テープ仕分け装置]	STソーター装着の場合にチェックします。
[ホールドメモリ]	「DM-32CF」搭載の場合にチェックします。
[給紙トレイ]	架台給紙機の場合にチェックします。

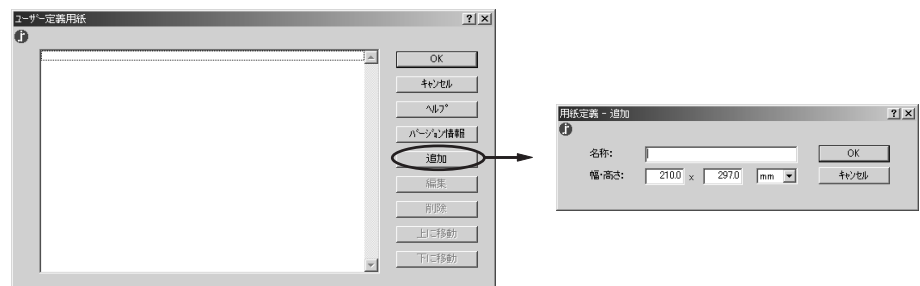
●定形外用紙を登録する

よく使う定形外の用紙に、名前をつけて登録することができます。

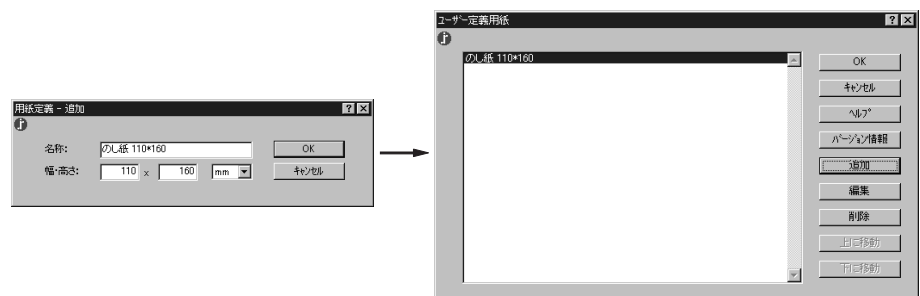
ここで登録した用紙は[メイン設定]タブ(参照 P.35)の定形サイズのプルダウンメニューに表示されます。

①[用紙登録]ボタンをクリックします。

②[ユーザー定義用紙]ダイアログボックスで、[追加]ボタンをクリックし、[用紙定義-追加]ダイアログボックスを開きます。



③名称・サイズを入力し、[OK]ボタンをクリックします。
定型用紙のリストに、登録した名称が表示されます。



参考

横置きで使用する用紙を登録する場合は、長辺の寸法を[幅]の欄に、短辺の寸法を[高さ]の欄に入力してください。

名称欄に名称とサイズを入力しておくと、用紙選択時にサイズが確認できて便利です。

●インク色登録

ご使用の機種では表示されません。

4

設定を完了する

[オプション機器設定] タブの [OK] ボタンをクリックします。

Windows NT4.0 編

プリンタドライバをインストールする

重要

- 印刷機をネットワークプリンタとして使用するには、あらかじめ「RISORINC-NET」ユーティリティソフトウェアで印刷機にIPアドレスなどを設定してください。詳しくは、「RISORINC-NET」の取扱説明書をお読みください。
- プリンタドライバのインストールをするには、システム設定を変更する権限のあるアカウント(Administratorなど)でWindowsにログオンしておく必要があります。
- プリンタドライバを削除してから再インストールする場合は、インストールの前に必ずパソコンを再起動してください。

1

【プリンタの追加ウィザード】を開始する

[スタート]メニューの[設定]－[プリンタ]を選択して[プリンタ]フォルダを開き、中にある[プリンタの追加]アイコンをダブルクリックします。

2

【プリンタの追加ウィザード】画面で【このコンピュータ】を選択して【次へ】をクリックする

参考

印刷機がネットワーク経由で接続されている場合でも、[このコンピュータ]を選択します。ただし、NetBEUIを利用する場合は、[ネットワークプリンタサーバー]をクリックして次の画面に進み、ネットワーク上の印刷機を指定してインストールすることもできます。

3

ポートを選択する

●パソコン1台と印刷機1台が、パラレルケーブルで接続されている場合：

[利用可能なポート]リストから、印刷機が接続されているポート(通常はLPT1)を選択して[次へ]をクリックします。

●パソコンと印刷機が、ネットワーク経由で接続されている場合：

LPRポートを追加します。

- ① [ポートの追加]をクリックする。
- ② [LPR Port]をクリックし、[新しいポート]をクリックする。
- ③ 「アドレス」欄に、印刷機のIPアドレスを入力する。
- ④ 「キュー名」欄に、半角小文字で「lp」(えるぴー)と入力する。
- ⑤ [OK]をクリックすると[プリンタの追加ウィザード]画面に戻るので、[次へ]をクリックする。

参考

上記は当社純正のネットワークカードを利用の際の手順となります。市販のプリントサーバやプリントサーバOSを利用してのネットワーク接続については各メーカーの取扱説明書の指示に従ってください。
[LPRPort]がポートの一覧に表示されない場合はWindowsNT4.0にLPR機能の追加を行う必要があります。LPR機能の追加後は再起動を要求されますので必要なデータ等は保存した上で作業を行ってください。詳しくはWindowsNT4.0の取扱説明書に従ってください。

- 4** [ディスク使用] をクリックする
- 5** 「RISO Printer Driver」 CD-ROM をパソコンにセットする
- 6** [フロッピーディスクからインストール] ダイアログボックスで[参照] をクリックする
- 7** 「A¥にアクセスできません」と表示されたら、[キャンセル] をクリックする
- 8** ドライバの inf ファイルを選択する
「ファイルの場所」欄でCD-ROMドライブ内の[Japanese] – [WinNT] フォルダを開きます。「ファイル名」欄の「RISODRV.inf」ファイルを選択し、[開く] をクリックします。
- 9** [フロッピーディスクからインストール] ダイアログボックスに戻るの
で、そのまま [OK] をクリックする
- 10** 「プリンタ」リストからご使用の印刷機名を選択して、[次へ] をクリックする
- 11** プリンタ名を確認して [次へ] をクリックする

参考

 既に他のプリンタドライバがインストールされている場合は、新しいRISO Printer Driverを通常使用するプリンタにするかどうかを選択してから[次へ]をクリックします。
- 12** ご使用の印刷機をネットワーク上の他のパソコンと共有するかどうか
を選択して [次へ] をクリックする

参考

 [共有する] を選択した場合、共有名を指定する必要があります。また、Windows NTのインストールディスクをセットするように指示されることがあります。プリンタ共有の詳細については、ネットワークの管理者にお問い合わせください。
- 13** 「テストページを印刷しますか?」と表示されるので、[はい] をクリックする
- 14** [完了] をクリックする前に、次の事項を確認する
 - ・パソコンと印刷機が確実に接続されているか。
 - ・印刷機の電源がONになっているか。
 - ・印刷機にA4サイズ以上の用紙がセットされているか。
 - ・印刷機にエラーが起きていないか。

15

【完了】をクリックする

CD-ROMからファイルがコピーされた後、印刷機で印字テストが行われます。

16

正しく印字テストされたら、画面に表示される確認ウィンドウで**【はい】**をクリックする

17

CD-ROM をパソコンから取り出す



取り出したCD-ROMは、大切に保管してください。

以上でプリンタドライバのインストールは完了です。
次に、お使いの環境にあわせてオプションの設定をしてください。

使用環境に合わせて登録する

ーオプション機器登録・定形外用紙登録・インク色登録ー

ご使用の環境に合わせて、オプション機器(ソーター、ステープラなど)・よく使う定形外用紙の登録を行います。

1

プリンタフォルダを開く

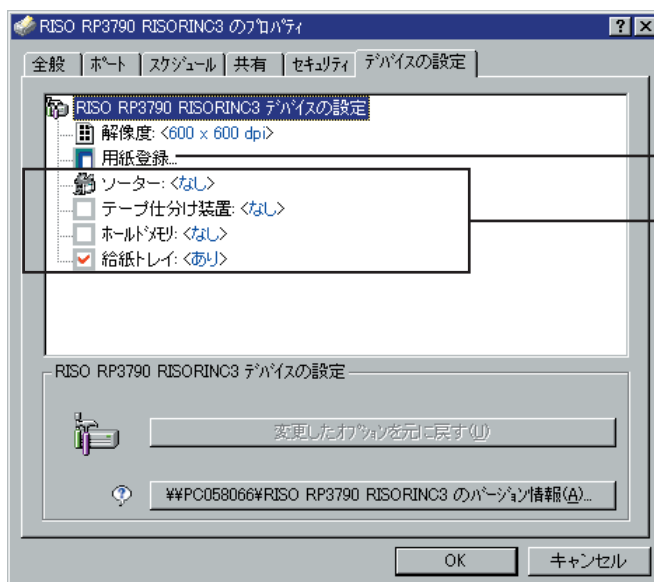
[スタート]メニューの[設定]ー[プリンタ]を選択して、[プリンタ]フォルダを開きます。

2

プリンタのプロパティを開く

[プリンタ]フォルダのRISO印刷機のアイコンを右クリックし、表示されるメニューから[プロパティ]を選択します。

表示されたダイアログボックスで、[デバイスの設定]タブをクリックします。



3

必要に応じて登録をする

●オプション機器を登録する

オプション機器が接続されていない場合は選択できません。

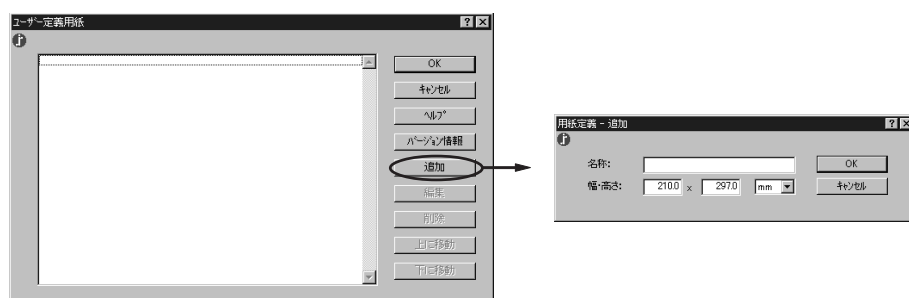
[ソーター]	お使いのソーターを選択します。
[テープ仕分け装置]	STソーター装着の場合にチェックします。
[ホールドメモリ]	「DM-32CF」搭載の場合にチェックします。
[給紙トレイ]	架台給紙機の場合にチェックします。

●定形外用紙を登録する

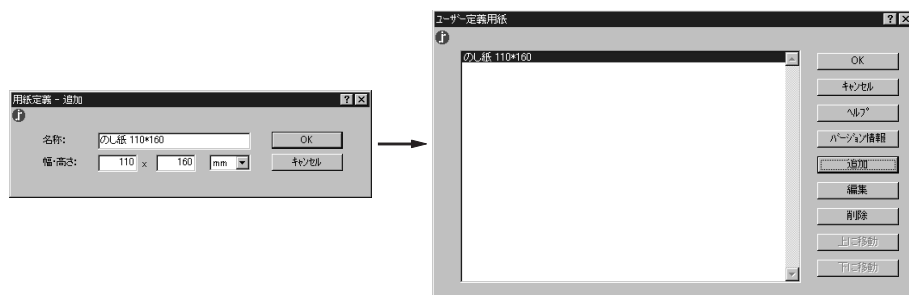
よく使う定形外の用紙に、名前をつけて登録することができます。

ここで登録した用紙は[メイン設定]タブ(参照 [P.35](#))の定形サイズのプルダウンメニューに表示されます。

- ① 用紙登録をクリックし、[用紙登録] ボタンを表示させ、[用紙登録] ボタンをクリックします。
- ② [ユーザー定義用紙]ダイアログボックスで、[追加]ボタンをクリックし、[用紙定義-追加]ダイアログボックスを開きます。



- ③ 名称・サイズを入力し、[OK] ボタンをクリックします。
定型用紙のリストに、登録した名称が表示されます。



参考

横置きで使用する用紙を登録する場合は、長辺の寸法を[幅]の欄に、短辺の寸法を[高さ]の欄に入力してください。

名称欄に名称とサイズを入力しておくとう用紙選択時にサイズが確認できて便利です。

●インク色登録

ご使用の機種では表示されません。

4

設定を完了する

[オプション機器設定] タブの [OK] ボタンをクリックします。

Windows 2000/XP 編

プリンタドライバをインストールする

重要

- 印刷機をネットワークプリンタとして使用するには、あらかじめ「RISORINC-NET」ユーティリティソフトウェアで印刷機にIPアドレスなどを設定してください。詳しくは、「RISORINC-NET」の取扱説明書をお読みください。
- プリンタドライバのインストールをするには、システム設定を変更する権限のあるアカウント(Administratorなど)でWindowsにログインしておく必要があります。
- プリンタドライバを削除してから再インストールする場合は、インストールの前に必ずパソコンを再起動してください。

1

【プリンタの追加ウィザード】を開始する

[スタート]メニューの[設定]－[プリンタ](Windows XPの場合は[プリンタとFAX])を選択して[プリンタ](Windows XPの場合は[プリンタとFAX])フォルダを開き、中にある[プリンタの追加]アイコンをダブルクリックします。

2

【プリンタの追加ウィザード】画面で【次へ】をクリックする

3

【ローカルプリンタ】を選択して【次へ】をクリックする

参考

印刷機がネットワーク経由で接続されている場合でも、[ローカルプリンタ]を選択します。ただし、NetBEUIを利用する場合は、[ネットワークプリンタ]をクリックして次の画面に進み、ネットワーク上の印刷機を指定してインストールすることもできます。

4

ポートを選択する

●パソコン1台と印刷機1台が、パラレルケーブルで接続されている場合:

[利用可能なポート]リストから、印刷機が接続されているポート(通常はLPT1)を選択して[次へ]をクリックします。

●パソコンと印刷機が、ネットワーク経由で接続されている場合:

ネットワークポート(Standard TCP/IP Port)を追加します

- ① [新しいポートの作成]を選択し、「種類」欄のプルダウンメニューから「Standard TCP/IP Port」を選択して、[次へ]をクリックする。
- ② [標準TCP/IPポートの追加ウィザード]画面が表示されたら、[次へ]をクリックする。
- ③ 「プリンタ名またはIPアドレス」欄に印刷機のIPアドレスを入力(「ポート名」欄には自動的に入力される)して、[次へ]をクリックする。
- ④ 「デバイスの種類」欄で「カスタム」を選択して、[設定]をクリックする。
- ⑤ 「プロトコル」欄で「LPR」を選択し、「LPR設定」の「キュー名」欄に半角小文字で「lp」(えるぴー)と入力して、「LPRバイトカウントを有効にする」にチェックを入れる。

参考

前記は当社純正のネットワークカードを利用の際の手順となります。市販のプリントサーバやプリントサーバOSを利用してのネットワーク接続については各メーカーの取扱説明書の指示に従ってください。
LPR機能の追加後は再起動を要求されますので必要なデータ等は保存した上で作業を行ってください。詳しくはWindows 2000/XPの取扱説明書に従ってください。

重要

「LPRバイトカウントを有効にする」にチェックを入れておかないと、画像が正しくプリントされないことがあります。

⑥[OK]をクリックしてダイアログボックスを閉じた後、ウィザード画面で[次へ]をクリックする。

⑦画面に表示されている設定内容を確認して、[完了]をクリックする。

参考

ネットワークポートの追加には、上記の他に、UNIX互換のLPRを利用する方法もあります。(「コントロールパネル」-「アプリケーションの追加と削除」の「Windowsコンポーネントの追加と削除」で「その他のネットワークファイルと印刷サービス-UNIX用印刷サービス」をインストールすると、「Windows NT4.0編」の手順3 (参照 P.11)と同様の手順でLPRポートを作成できます。)

5

[ディスク使用] をクリックする

6

「RISO Printer Driver」 CD-ROM をパソコンにセットする

7

[フロッピーディスクからインストール] ダイアログボックスで [参照] をクリックする

8

「A¥にアクセスできません」と表示されたら、[キャンセル] をクリックする

9

ドライバのinf ファイルを選択する

「ファイルの場所」欄でCD-ROMドライブ内の[Japanese] - [Win2000_XP] フォルダを開きます。「ファイル名」欄の「RISOP3.inf」ファイルを選択し、[開く] をクリックします。

10

**[フロッピーディスクからインストール] ダイアログボックスに戻るの
で、そのまま [OK] をクリックする**

11

「プリンタ」リストからご使用の印刷機名を選択して、[次へ] をクリックする

12

プリンタ名を確認して [次へ] をクリックする

参考

既に他のプリンタドライバがインストールされている場合は、新しいRISO Printer Driverを通常使用するプリンタにするかどうかを選択してから[次へ]をクリックします。

13 ご使用の印刷機をネットワーク上の他のパソコンと共有するかどうかを選択して [次へ] をクリックする

参考

[共有する]を選択した場合、共有名を指定する必要があります。
また、Windows 2000/XPのインストールディスクをセットするように指示されることがあります。プリンタ共有の詳細については、ネットワークの管理者にお問い合わせください。

14 「テストページを印刷しますか?」と表示されるので、[はい] をクリックする

15 [完了] をクリックする前に、次の事項を確認する

- ・パソコンと印刷機が確実に接続されているか。
- ・印刷機の電源がONになっているか。
- ・印刷機にA4サイズ以上の用紙がセットされているか。
- ・印刷機にエラーが起きていないか。

16 [完了] をクリックする

「デジタル署名が見つかりませんでした」というメッセージが表示されるので、[はい]をクリックします。CD-ROMからファイルがコピーされた後、印刷機でテストページがプリントされます。

17 正しく印字テストされたら、画面に表示される確認ウィンドウで [OK] をクリックする

18 CD-ROM をパソコンから取り出す

重要

取り出したCD-ROMは、大切に保管してください。

以上でプリンタドライバのインストールは完了です。
次に、お使いの環境にあわせてオプションの設定をしてください。

使用環境に合わせて登録する

ーオプション機器登録・定形外用紙登録・インク色登録ー

ご使用の環境に合わせて、オプション機器(ソーター、ステープラなど)・よく使う定形外用紙の登録を行います。

1

プリンタフォルダを開く

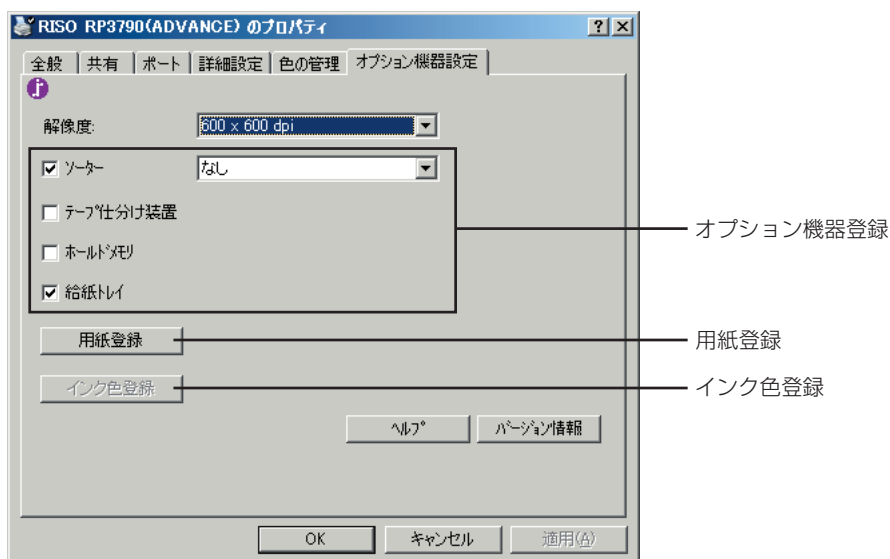
[スタート]メニューの[設定]ー[プリンタ]をクリックして、[プリンタ]フォルダを開きます。

2

プリンタのプロパティを開く

[プリンタ]フォルダのRISO印刷機のアイコンを右クリックし、表示されるメニューから[プロパティ]を選択します。

表示されたダイアログボックスで、[オプション機器設定]タブをクリックします。



3

必要に応じて登録をする

●オプション機器を登録する

オプション機器が接続されていない場合は選択できません。

[ソーター]	お使いのソーターを選択します。
[テープ仕分け装置]	STソーター装着の場合にチェックします。
[ホールドメモリ]	「DM-32CF」搭載時にチェックします。
[給紙トレイ]	架台給紙機の場合にチェックします。

●定形外用紙を登録する

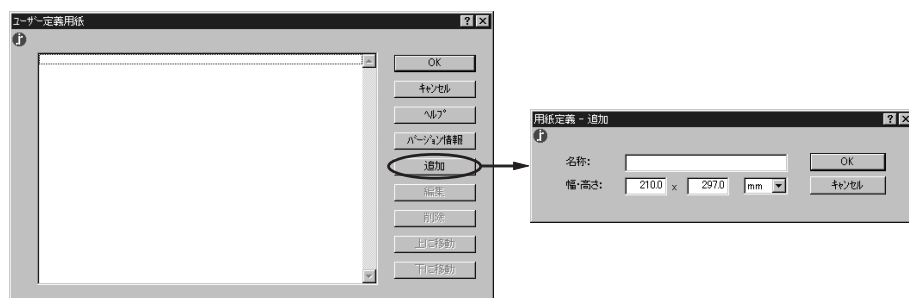
よく使う定形外の用紙に、名前をつけて登録することができます。

ここで登録した用紙は[メイン設定]タブ(参照 [P.35](#))の定形サイズのプルダウンメニューに表示されます。

①用紙登録の項目を選択する

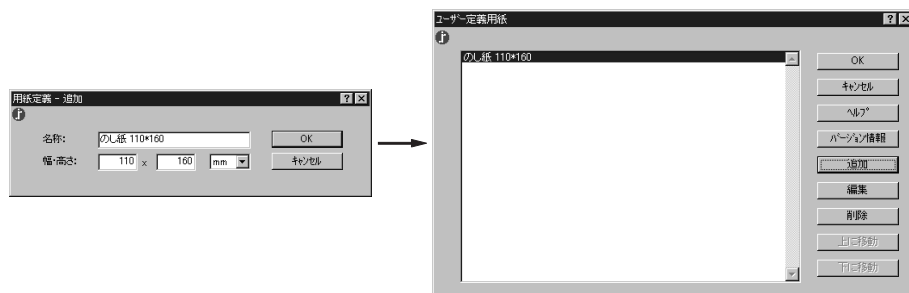
[用紙登録]ボタンをクリックし、表示された[(用紙登録)のプロパティ]ボタンをクリックします。

②[ユーザー定義用紙]ダイアログボックスで、[追加]ボタンをクリックし、[用紙定義 - 追加]ダイアログボックスを開きます。



③名称・サイズを入力し、[OK]ボタンをクリックします。

定型用紙のリストに、登録した名称が表示されます。



参考

横置きで使用する用紙を登録する場合は、長辺の寸法を[幅]の欄に、短辺の寸法を[高さ]の欄に入力してください。

名称欄に名称とサイズを入力しておくとう用紙選択時にサイズが確認できて便利です。

●インク色登録

ご使用の機種では表示されません。

4

設定を完了する

[オプション機器設定] タブの [OK] ボタンをクリックします。

Mac OS 編

ケーブルを接続する

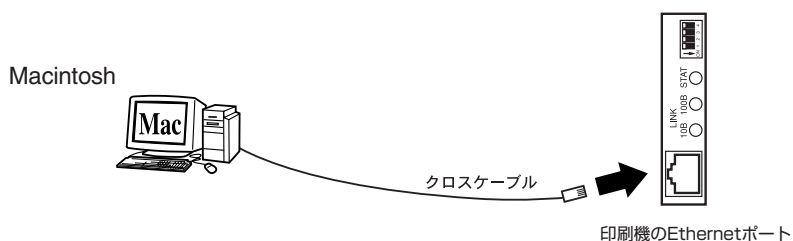
- Macintoshから当社製印刷機でプリントをするには、「RISO PRINTER Network Interface Card RISORINC-NET」キットが必要です。
- Macintoshには、Ethernetボードが装着されていることが必要です。

RISORINC-NETを装着した印刷機と、お使いのMacintoshを接続します。
接続にはお使いの環境に合わせて市販のEthernetケーブル(10BASE-Tまたは100BASE-TX用)をお使いください。

重要 Ethernetケーブルは、カテゴリ-5(または5以上)と明記されているケーブルをお使いください。

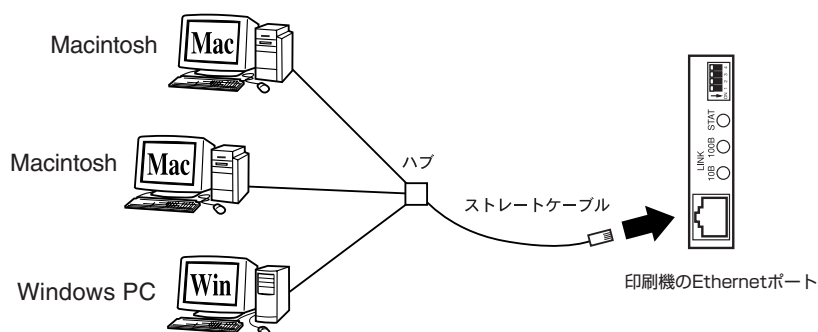
参考 AppleTalkゾーンを変更したいときは、CD-ROMのRISORINC-NETソフトウェア(RISO-ADMIN)を使って設定できます。Macintosh、印刷機ともにTCP/IPの設定が必要です。
CD-ROM内のRISORINC-NET取扱説明書(PDF)をお読みください。

1 台の Macintosh と接続するとき



- 「RISORINC-NET」付属のソフトウェアを使用する場合はTCP/IPの設定が必要です。

ネットワーク経由で接続するとき



- Windows PCと接続する場合は、TCP/IPの設定が必要です。
CD-ROM内のRISORINC-NET取扱説明書(PDF)をお読みください。

プリンタドライバをインストールする

重要

- 本プリンタドライバを動作させるには、以下の環境が必要です。
CPU: PowerPC以上
メモリ: 192MB以上(仮想メモリを含む)
MacOS: 8.6~9.2.2
- 既に古いバージョンのRISO Printer Driverがインストールされている場合は、インストールの前にアンインストールをしてください。

アンインストールのしかた

1. デスクトップにあるプリンタアイコンをゴミ箱に捨てる。
2. [システムフォルダ]の[機能拡張]フォルダ内にあるプリンタドライバ(ファイル名はRISO...で始まる)をゴミ箱に捨てる。

1

「RISO Printer Driver」CD-ROMをMacintoshにセットする

2

CD-ROMの中の[Japanese]フォルダを開く

3

お使いの印刷機名に対応するプリンタドライバのアイコンを選んで、Macintoshの[システムフォルダ]内の[機能拡張]フォルダにコピーする

4

[RISORINC3 Paper Editor]アイコンを、Macintoshのハードディスクにコピーする

5

CD-ROMをMacintoshから取り出す

重要

取り出したCD-ROMは、大切に保管してください。

6

Macintoshを再起動する

7

再起動後、アップルメニューの[コントロールパネル]から[AppleTalk]を選択し、「経路先」を[Ethernet]にする

8

[AppleTalk]ウィンドウを閉じ、「変更内容を現在の設定に保存しますか?」というメッセージが表示された場合は、[保存]をクリックする

9

アップルメニューから「セレクト」を選択する

10

お使いの印刷機名に対応するプリンタドライバを左欄で選択し、使用するプリンタ名（デフォルトでは「RISO PRINTER RISORINC」）を右欄で選択する



参考

- AppleTalkゾーンの設定や右欄に表示されるプリンタ名は、「RISORINC-NET」ユーティリティソフトウェアで変更できます。詳しくは、「RISORINC-NET」の取扱説明書をお読みください。
- 「バックグラウンドプリント」を「入」にしておくと、印刷機にデータを送信している間もMacintoshで他の操作ができるので便利です。ただし、データ送信の速度は「切」に比べて遅くなるので、急いでプリントしたい場合は「切」にしてください。

11

「セレクト」ウィンドウを閉じ、「現在使用できるプリンタを変更しています。」というメッセージが表示されたら「OK」をクリックする

参考

設定が完了すると、デスクトップにプリンタアイコンが生成されます。プリンタアイコンをダブルクリックすると、表示されるウィンドウでプリンタの処理状況を確認することができます。

以上でプリンタドライバのインストールは完了です。
次に、お使いの環境にあわせてオプションの設定をしてください。

オプションなどを設定する

印刷機にソーター、ステープラー、テープ仕分け装置などのオプションを接続している場合は、下記の手順で登録すると、プリンタドライバで各オプションのモードを設定できるようになります。

1

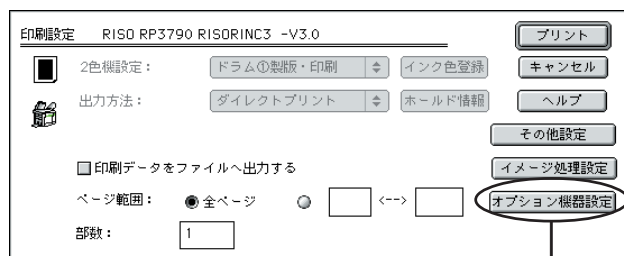
【印刷設定】 ダイアログボックスを表示する

デスクトップで、[ファイル]メニューから[デスクトップのプリント]を選択します。

2

【オプション機器設定】 ダイアログボックスを表示する

[オプション機器設定] ボタンをクリックして、[オプション機器設定] ダイアログボックスを表示します。



3

オプションを設定する

オプション機器が接続されていない場合は選択できません。

- | | |
|------------|--------------------------|
| 【ソーター】 | お使いのソーターを選択します。 |
| 【テープ仕分け装置】 | STソーター装着の場合「あり」を選択します。 |
| 【ホールドメモリ】 | 「DM-32CF」搭載時に「あり」を選択します。 |
| 【給紙トレイ】 | 架台給紙機の場合「あり」を選択します。 |

各項目選択後、[OK] ボタンをクリックします。

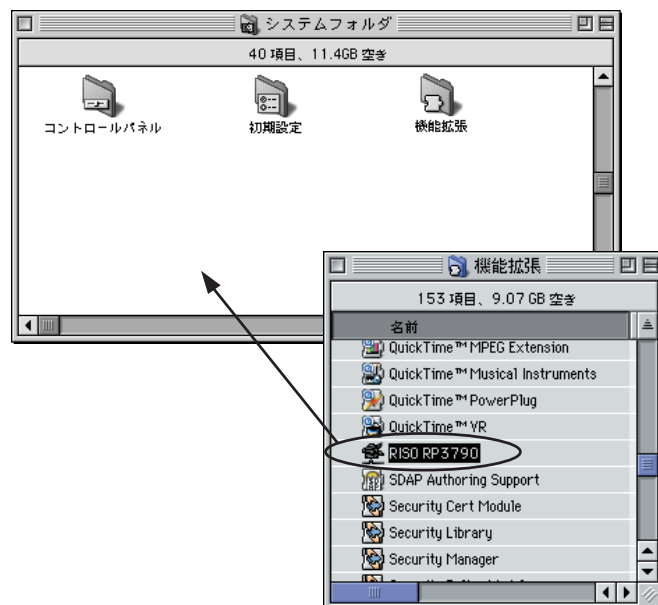
よく使う定形外用紙を登録する

[RISORINC3 用紙タイプエディタ]を使って、よく使う定形外用紙に名前をつけて登録することができます。ここで登録した用紙は、[用紙設定]ダイアログボックス([P.47](#))のプルダウンメニューに表示されます。

1

プリンタドライバを機能拡張フォルダから外に出す

[システムフォルダ]内にある[機能拡張]フォルダを開き、RISO Printer Driverのアイコンを[システムフォルダ]内にドラッグ&ドロップします。

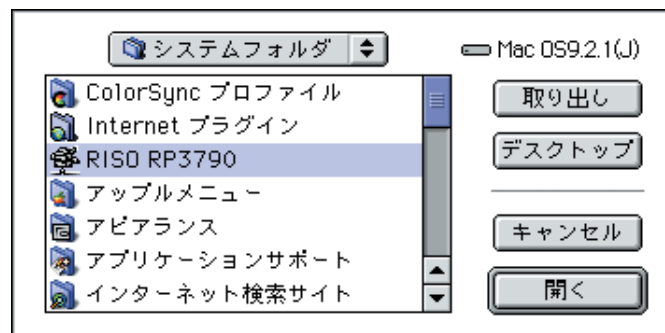


2

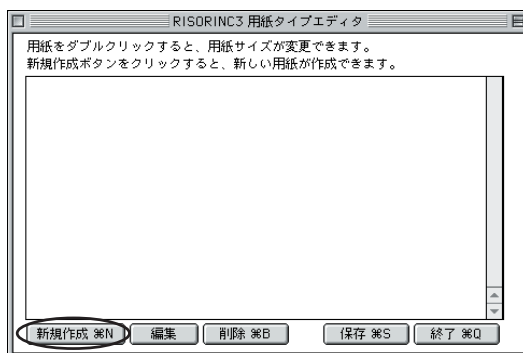
[RISORINC3 Paper Editor] を起動する

ハードディスクを開き、[RISORINC3 Paper Editor]アイコンをダブルクリックして起動します。起動すると開くファイルをきいてくるので、[システムフォルダ]内のRISO Printer Driverを選択して[開く]をクリックします。

次ページのような[RISORINC3 用紙タイプエディタ]ダイアログボックスが開きます。



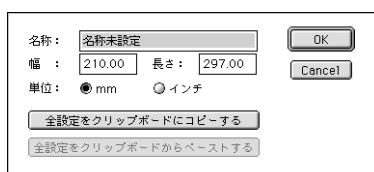
[RISORINC3 用紙タイプエディタ] ダイアログボックス



3

[新規作成] をクリックする

登録／編集ダイアログボックスが表示されます。

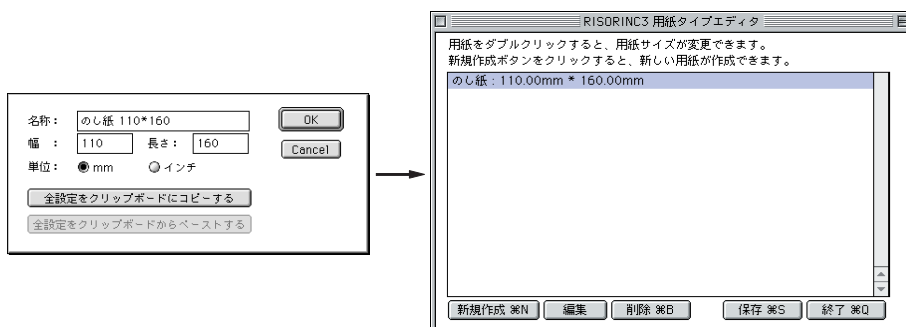


4

登録する用紙を設定する

登録する用紙の、[名称]、[幅]、[長さ]をそれぞれ入力します。

[OK]をクリックすると、作成した用紙が[RISORINC3 用紙タイプエディタ]ダイアログボックスのリストに表示されます。



参考

- 横置きで使用する用紙を登録する場合は、長辺の寸法を[幅]の欄に、短辺の寸法を[長さ]の欄に入力してください。
- 名称欄に名称とサイズを入力しておくとう紙選択時にサイズが確認できて便利です。
- 登録できる用紙サイズの範囲は、ご使用の印刷機によって異なります。詳しくは印刷機の取扱説明書をご覧ください。
- いったん登録した用紙を変更する場合は、編集する用紙をリストから選んで[編集]をクリックし、変更してください。また、登録した用紙を削除したい場合は、削除する用紙を選択し、[削除]をクリックしてください。

5

用紙登録を終了する

[保存]をクリックしてから[終了]をクリックします。作成した用紙が用紙タイプエディタに登録され、[RISORINC3 用紙タイプエディタ]ダイアログボックスが閉じます。

6

プリンタドライバを【機能拡張】フォルダに戻す

手順1で[システムフォルダ]内に出したプリンタドライバを【機能拡張】フォルダにドラッグ&ドロップして、元の状態に戻します。
(必ず戻しておいてください。)

操作のしかた

■ Windows 編	32
プリントのしかた	32
[プロパティ]の設定方法	34
[メイン設定] タブ	34
[イメージ処理設定] タブ	39
[その他設定] タブ	41
遠方の印刷機にデータを送信するには	43
■ Mac OS 編	45
プリントのしかた	45
ダイアログボックスの設定方法	47
[用紙設定] ダイアログボックス	47
[印刷設定] ダイアログボックス	49
[その他設定] ダイアログボックス	52
[イメージ処理設定] ダイアログボックス	55
遠方の印刷機にデータを送信するには	56

Windows 編

■プリントのしかた

パソコンで作成した原稿データのプリントは、以下の手順で行います。
あらかじめパソコンにRISO Printer Driverがインストールされていることを確認しておいてください。
接続されているオプション機器や、お使いの印刷機によって設定できる項目は異なります。

重要

- 印刷機で印刷できる領域(プリントエリア)はお使いの印刷機によって異なります。ご使用の印刷機の取扱説明書を参照してください。
- その他の制限事項については、ご使用の印刷機の取扱説明書もあわせてお読みください。

参考

リモートモード受信が可能な遠方の印刷機にデータを送信する場合には、[P.43](#)をご覧ください。

1

印刷機の準備をする

印刷機の電源が[ON]になっていることを確認し、プリントする原稿と同じサイズ用の紙をセットします。給紙台、排紙台を調整しておきます。
詳しくは印刷機の取扱説明書をご覧ください。

2

【印刷】ダイアログボックスを表示する

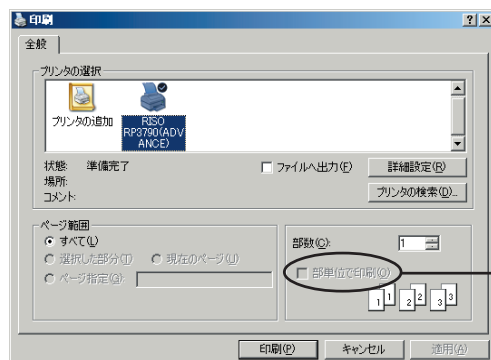
プリントする原稿データをパソコン上で開き、[ファイル]メニューから[印刷] (または[プリント])を選択します。

3

プリント条件を確認する

[プリンタ名]の欄に、ご使用の印刷機に対応するRISO Printer Driverが表示されていることを確認します。(名称は対応印刷機の機種により異なります。)

- 印刷部数(枚数)、印刷範囲を指定します。
- [部単位で印刷]のチェック項目がある場合には、必ずチェックマークをはずして無効にしてください。(有効にすると、1枚印刷することにより製版を繰り返してしまいます。)



[部単位で印刷] のチェック
マークをはずす

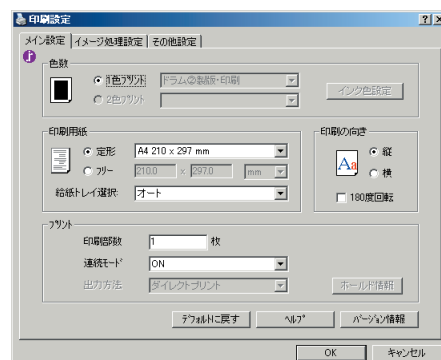
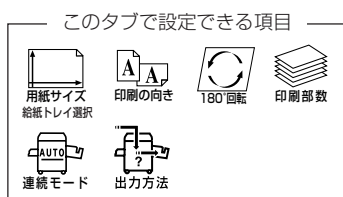
さらに詳細なプリント条件を設定する場合は、[プロパティ]ボタンをクリックして、次ページの[プロパティ]ダイアログボックスを表示します。

RISO Printr Driver の【プロパティ】ダイアログボックス

ダイアログボックス上端のタブをクリックして、各設定項目を表示します。

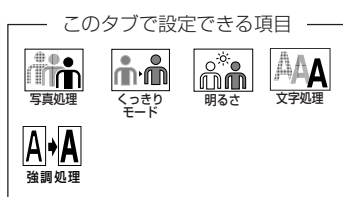
参考 プリンタの設定に関するアクセス権によっては、設定できない項目もあります。

[メイン設定] タブ (詳細設定は [P.34](#))

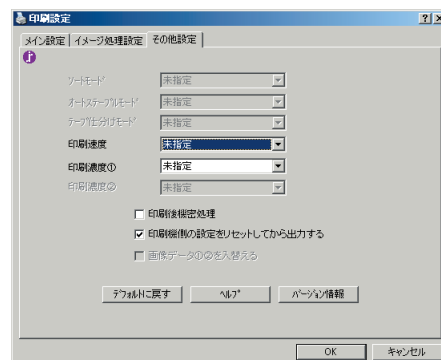
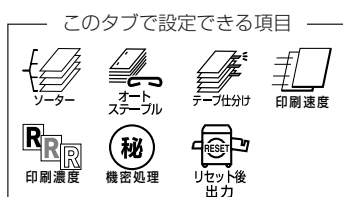


重要 このタブの設定項目は、必ず作成アプリケーションの用紙設定と合わせて設定してください。

[イメージ処理設定] タブ (詳細設定は [P.39](#))



[その他設定] タブ (詳細設定は [P.41](#))



特に設定する必要のない場合は、このタブの項目は「未指定」にしておくか、変更しないでください。
(印刷機側の設定でプリントされます。)
設定する場合は、印刷機の取扱説明書の同じ項目のページをよく読んでから設定してください。

4

プリントを指示する

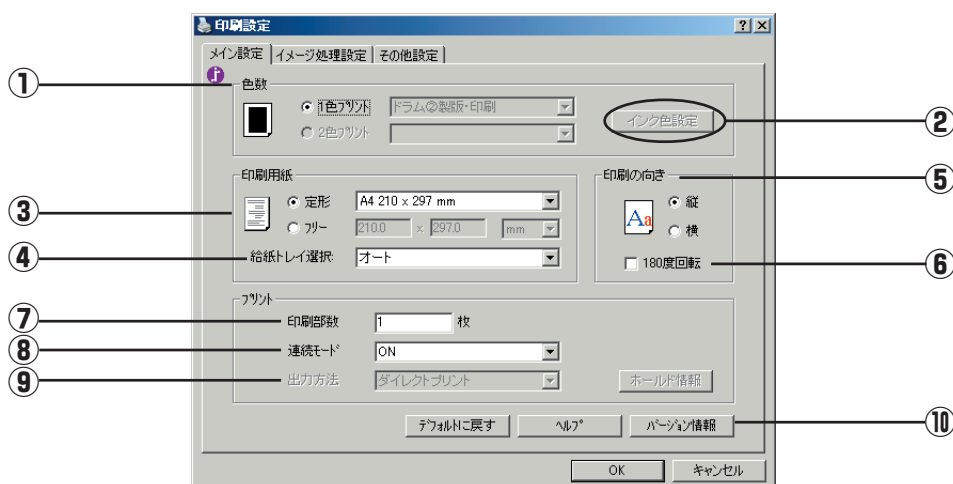
[OK] ボタンをクリックして[印刷] ダイアログボックスに戻ります。
[印刷] ダイアログボックスで[OK] ボタンをクリックすると、文書データが印刷機に送られ、プリントが始まります。

[プロパティ]の設定方法

ここでの操作は、Windows 98SE/Me、Windows NT、Windows 2000/XP共通です。
画面表示やタブの名称等は多少異なる場合がありますが、ご了承ください。

[メイン設定] タブ -RISO Printer Driverのプロパティ-

このダイアログボックスで設定できること



①色数

■ご使用の機種では表示されません。

②インク色設定

■ご使用の機種では表示されません。

③用紙サイズ



[定形] [フリー]のどちらかを選択します。



- 必ず、文書を作成したアプリケーションで設定した用紙サイズと同じサイズを指定してください。
- 印刷機で横通紙する場合は、アプリケーションの用紙サイズであらかじめ「横」の付くサイズを選んでください。

●定形用紙を使用するとき

定形用紙を使用したいときは、[▼]をクリックしてプルダウンメニューを表示させ、定形用紙を選択します。



●表示されているサイズ以外の用紙を使用したいとき

[フリー]を選択して、用紙幅・用紙高さをそれぞれ入力してください。
[mm]の横の[▼]をクリックすると、単位を[inch]に変更できます。



参考

- [フリー]に入力できる用紙サイズの範囲は、ご使用の印刷機によって異なります。詳しくは印刷機の取扱説明書をご覧ください。
- 不定形の用紙も、あらかじめ登録することで[定形]のプルダウンメニューから選択することができます。(参照 P.9、15、21)
- アプリケーションによっては[フリー]での入力が無視されることがあります。その場合は定形外用紙を登録してください。(参照 P.9、15、21)

④給紙トレイ選択

インストール時のプロパティ詳細タブで[給紙トレイあり]に設定してある場合に選択します。

[▼]をクリックしてプルダウンメニューを表示し、印刷機のどこにセットされている用紙を使用して印刷するかを設定します。

【印刷機設定】 印刷機側で選択されているトレイ(または給紙台)を使用します。

【オート】 原稿データのサイズに適応する用紙がセットされているトレイを自動的に選択して使用します。

【給紙台】 給紙台の用紙を使用します。

【トレイ1】 トレイ1の用紙を使用します。

【トレイ2】 トレイ2の用紙を使用します。

参考 [オート]のとき、給紙台も選択の中に含むか含まないかは、印刷機の管理者設定[給紙台オート設定]で設定します。
(参照 印刷機取扱説明書 基本編)

⑤印刷の向き



印刷の向き

印刷用紙の通紙方向にデータのプリント方向を合わせるための設定です。

重要 必ず、文書を作成したアプリケーションで設定した印刷の向きと同じ向きを指定してください。
異なる向きを指定すると正しく印刷できません。

⑥180度回転



180°回転

印刷文書を180度回転させて出力することができます。
ソーターでステープルするときや、封筒などを印刷するとき请使用してください。

重要 180度回転は印刷機側でも設定できますが、プリンタドライバと印刷機両方で設定すると、180度回転されないでプリントされます。

⑦印刷部数



印刷部数

印刷部数は、基本的には[印刷]ダイアログボックス(参照 P.32)で設定しますが、[印刷]ダイアログボックスに部数設定がないアプリケーションソフトの場合は、ここで入力します。

⑧ 連続モード



連続モード

[▼]をクリックしてプルダウンメニューを表示し、製版・印刷の連続方法(プリントの停止タイミング)を設定します。

試し刷りを確認したいときやページごとに印刷をいったん止めたいときは、OFFの中からタイミングを選択してください。

- | | |
|--------------------------|---|
| [ON] | 製版～印刷まで連続して行います。複数ページある場合も全ページ止まらずにプリントします |
| [OFF—製版前ストップ] | データ受信後、製版する前に停止します。用紙を載せ換えたり、ドラムを交換したりできます。その後、印刷機の<スタート>キーで製版～印刷(オート印刷)を開始します。 |
| [OFF—印刷前ストップ] | 製版後、試し刷りを1枚出した状態で停止します。印刷物の内容を確認したり、位置を調整したりすることができます。その後、印刷機の<スタート>キーで印刷を開始します。複数ページある場合は、印刷終了後、次ページの製版を続けて行い(オート製版)、試し刷りを出した状態で停止します。 |
| [OFF—製版前・印刷前ストップ] | 製版前、印刷前両方とも停止します。(印刷機の通常の印刷モード(連続OFF)です。) |



連続モードの設定は、ダイレクトプリント(参照 [P.37](#) [出力方法])時のみ有効です。(ホールド時には、この情報は無効になります。)ホールドデータの連続モードの設定は、データを呼び出したときに、印刷機のディスプレイで設定します。

⑨ 出力方法



出力方法

■ この設定は、印刷機にホールドメモリ(DM-32CF)が搭載されている場合のみ、表示されます。



インストール時のプロパティ詳細タブで[ホールドメモリ]のあり/なしを変更できます。(参照 [P.8, 14, 20](#))

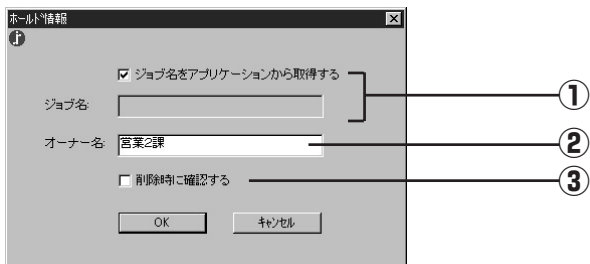
[▼]をクリックしてプルダウンメニューを表示し、出力方法を設定します。

- | | |
|------------------------|---|
| [ダイレクトプリント] | 印刷機にデータを送り、連続モードの設定に従ってプリントを開始します。プリント終了後、データは自動的に消去されます。 |
| [プリント&ホールド] | ダイレクトプリントを行い、データは印刷機に保存(ホールド)します。以後繰り返し、そのデータを印刷機の操作で呼び出してプリントできます。 |
| [ホールド] | 印刷機にデータを送り保存(ホールド)します。以後繰り返し、そのデータを印刷機の操作で呼び出してプリントできます。 |

参考

ホールドデータの[ジョブ名][オーナー名]は、自動的にアプリケーションソフトのファイル名と、お使いになっているパソコンのオーナー名になりますが、ここで変更することができます。ただし、下の禁止文字は使わないでください。[ホールド情報ボタン]をクリックして、[ホールド情報]ダイアログボックスを開いて設定します。ここで設定した[ジョブ名][オーナー名]が、印刷機のディスプレイに表示されます。

禁止文字: ¥ / : , ; * ? " < > |

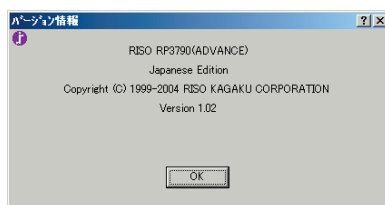


- ① ジョブ名を新規につける場合は、チェックを外してジョブ名を入力します。
- ② オーナー名を新規につける場合は、この欄に入力します。
- ③ ここにチェックすると、印刷機側でこのデータを削除しようとしたときに、確認のメッセージ(警告文)を表示します。

参考

⑩ バージョン情報

[バージョン情報]ボタンをクリックすると、下のようなダイアログボックスが表示されます。プリンタドライバの異常などでサポートセンターに問い合わせるときに、バージョンを確認してください。



【イメージ処理設定】タブ -RISO Printer Driverのプロパティ-

このダイアログボックスで設定できること



写真処理



くっきり
モード



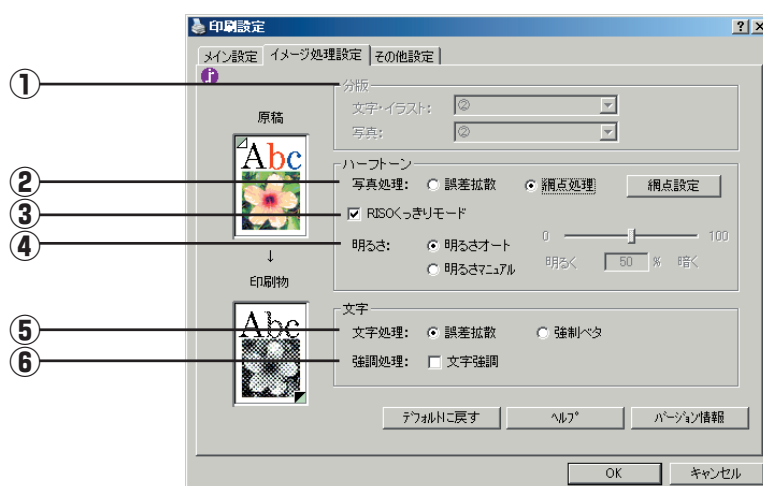
明るさ



文字処理



強調処理



①分版

■ご使用の機種では表示されません。

②写真処理



写真処理

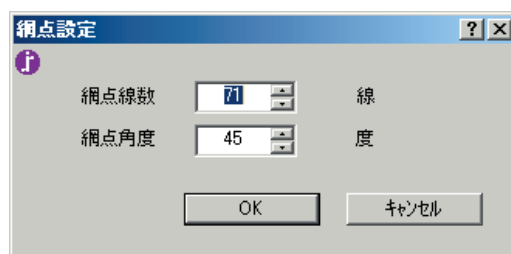
原稿データの写真部分の画像処理方法を選択します。

【誤差拡散】 解像度を優先させた写真部分のハーフトーン処理を行います。

【網点処理】 階調性を優先させた写真部分のハーフトーン処理を行います。

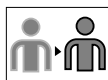
参考

【網点設定】 ボタンをクリックすると、【網点設定】ダイアログボックスが表示され、網点処理の線数や角度などの詳細を設定できます。



③ RISO くっきり

モード



くっきり
モード

当社製印刷機を使用する場合に、写真の階調性を最適化する独自の処理方法です。
基本的にはチェックした状態でのご使用をおすすめします。

④ 明るさ



明るさ

[明るさオート]または[明るさマニュアル]のどちらかが選択できます。
[明るさマニュアル]を選択した場合は、スライダーまたは数値(%)で、写真の明るさを設定できます。

重要 Windows98SEの場合、[RISOくっきりモード]をOFF、[明るさマニュアル]を50%に設定すると、写真はイラストとして処理され、通常に比べ高速で出力することができます。

⑤ 文字処理



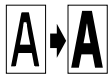
文字処理

原稿データの文字列、数字部分などに、色設定がされている場合の処理方法を設定します。

[誤差拡散] 設定されている色によって濃淡をつけて印刷します。

[強制ベタ] 設定されている色に関係なく、すべての文字を100%(ベタ)で印刷します。

⑥ 強調処理



強調処理

印刷時のかすれを防止するために、画像処理を加えてプリントします。

[文字強調] 細い文字などのかすれを防止します。

【その他設定】 タブ

このダイアログボックスで設定できること



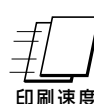
ソーター



オートステープル



テープ仕分け



印刷速度



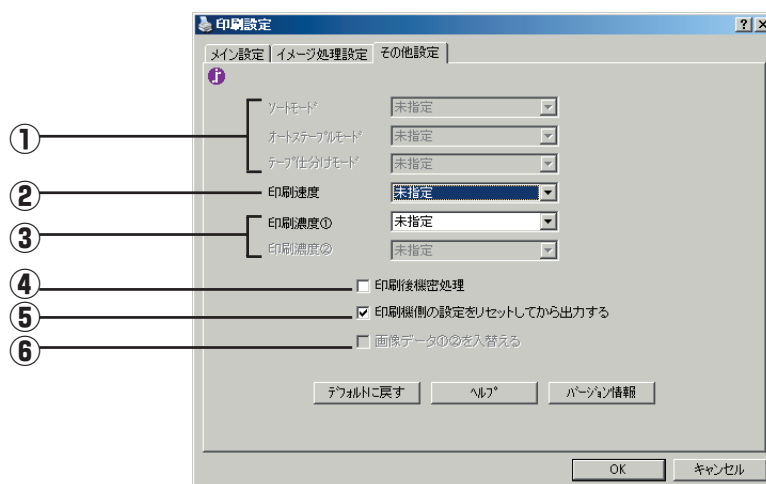
印刷濃度



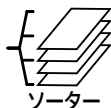
機密処理



リセット後出力



① オプションの設定



ソーター



オートステープル



テープ仕分け

■ インストール時のプロパティ詳細タブで[ソーター][テープ仕分け装置]を[あり]に設定してある場合に表示されます。

ソートモード・オートステープルモード・テープ仕分けモード、それぞれ、[▼]をクリックしてプルダウンメニューを表示し、モードを設定します。
[未指定]を選択すると、印刷機側で設定されているモードになります。

参考

ソーター、テープ仕分け装置の機能・操作などについては、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

②印刷速度



印刷機の印刷速度を設定します。

[未指定]にしておくと、印刷機側で設定されている速度で印刷されます。

③印刷濃度



印刷機の印刷濃度をそれぞれ設定します。

[未指定]にしておくと、印刷機側で設定されている濃度で印刷されます。

④印刷後機密処理



すべてのページの製版・印刷終了後、最後に製版したマスターが廃棄され、新しいマスターがセットされます。次に印刷する人に印刷内容を知られたくない場合に設定します。

⑤印刷機側の設定
をリセットして
から出力する



文書データを印刷機に送る前に、印刷機の設定をリセットします。

基本的には、チェックした状態でのご使用をおすすめします。

⑥画像データ①②
を入れ替える

■ご使用の機種では表示されません。

■ 遠方の印刷機にデータを送信するには

遠方の印刷機へ公衆回線を利用してデータを送信する(リモートモード)には、送信の前に送信可能なデータ形式(RISORINC形式ファイル)を作成する必要があります。

参考

RISORINC形式ファイルは、当社製印刷機専用の印刷データ形式です。RISO Printer Driverで設定した条件がすべて書き込まれます。また、編集できないデータ(印刷専用)なので、受信側で誤って原稿の内容を変更してしまう心配もありません。

重要

本機能を使用するには以下の条件が必要となります。

- 受信側の印刷機またはコントローラーが通信印刷機能に対応していること
- 受信側の印刷機がドキュメントホールド機能を持っている場合、オプションのDM-32CFを装着していること
- 送受信側ともに独立した電話回線を通じて通信可能であること(交換機等経由している場合は正常に通信出来ません)
- 送信側のパソコンにダイヤルアップの設定等が正しく行われていること

1

[印刷] ダイアログボックスを表示する

RISORINC形式ファイルにする原稿データをパソコン上で開き、[ファイル]メニューから[印刷](または[プリント])をクリックします。

2

プリント条件を確認する

[プリンタ名]の欄に、ご使用の印刷機に対応するRISO Printer Driverが表示されていることを確認します。

必要に応じて、通常のプリントと同じように[プロパティ]ボタンをクリックして印刷条件を設定します。(参照 [P.32](#))

重要

RISORINC形式ファイルは、必ず送信先の印刷機に対応するRISO Printer Driverで作成してください。プリンタドライバと印刷機が一致しないと、正しくプリントできないことがあります。

3

ファイル出力を指示する

[ファイルへ出力]のチェックマークを付け、[OK]ボタンをクリックします。続いて表示されるダイアログボックスでファイル名と保存場所を指定して、[保存]ボタンをクリックします。

RISORINC形式ファイルが作成され、指定した保存場所に保存されます。



[ファイルへ出力]
のチェックマーク
を付ける

4

ファイルを送信する

通信ソフトを利用してファイルを送信します。送信の方法については通信ソフトの取扱説明書をご覧ください。

参考

作成したRISORINC形式ファイルを送信するには、当社製通信ソフトウェア「RISORINC Manager」を使用すると便利です。

送信の方法については、「RISORINC Manager」の取扱説明書をご覧ください。

Mac OS 編

■プリントのしかた

Macintoshで作成した原稿データのプリントは、以下の手順で行います。

あらかじめMacintoshにRISO Printer Driverがインストールされていることを確認しておいてください。

接続されているオプション機器や、お使いの印刷機によって設定できる項目は異なります。

重要

- 印刷機で印刷できる領域(プリントエリア)は、お使いの印刷機によって異なります。ご使用の印刷機の取扱説明書を参照してください。
- その他の制限事項については、ご使用の印刷機の取扱説明書もあわせてお読みください。

参考

リモートモード受信が可能な遠方の印刷機にデータを送信する場合には、P.56をご覧ください。

1

印刷機の準備をする

印刷機の電源を入れ、プリントする原稿データと同じサイズ of 用紙をセットします。給紙台、排紙台を調整しておきます。

詳しくは印刷機の取扱説明書をご覧ください。

2

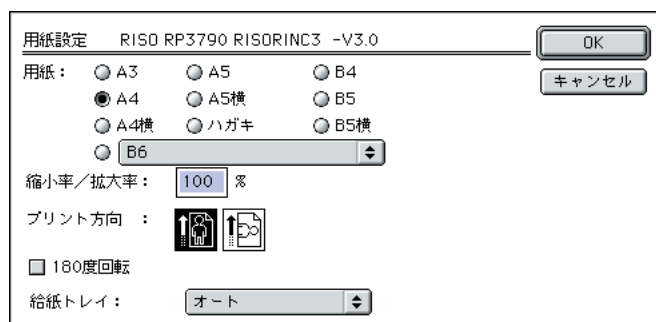
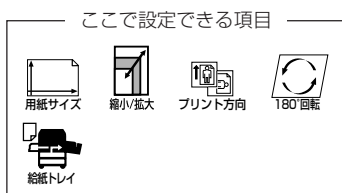
プリントする原稿データを開き、[用紙設定] ダイアログボックスを表示する

プリントする原稿データを開き、[ファイル]メニューから[用紙設定]を選択します。(メニュー名はアプリケーションによって異なる場合があります。)

重要

複数のプリンタと接続している場合はあらかじめ、[セクタ]でお使いの印刷機を選択しておいてください。

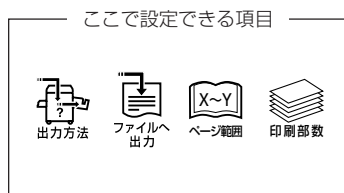
(参照 [P.25](#))



[詳細説明 P.47](#)

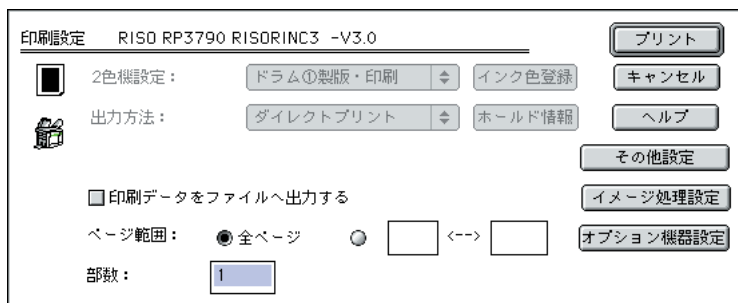
設定を確認した後、[OK] ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。

3



[印刷設定] ダイアログボックスを表示する

[ファイル]メニューから[印刷] (または[プリント])を選択します。

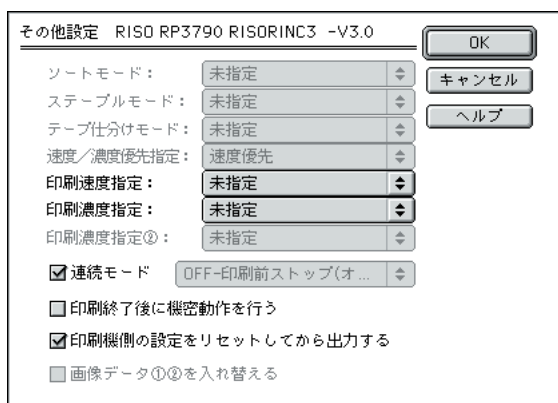
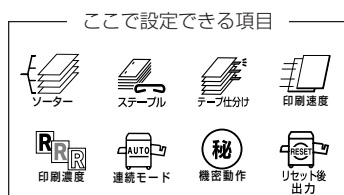


プリントする原稿データのページ範囲、枚数を選択します。
各項目を設定します。(詳細設定 [P.49](#))

各種ダイアログボックス

[印刷設定] ダイアログボックス右側のボタンをクリックして、各設定項目を表示します。

[その他設定] ダイアログボックス (詳細設定 [P.52](#))



[イメージ処理設定] ダイアログボックス (詳細設定 [P.55](#))



4

プリント指示をする

[印刷設定] ダイアログボックスで[プリント]ボタンをクリックすると、原稿データが印刷機に送られ、プリントが始まります。

ダイアログボックスの設定方法

【用紙設定】 ダイアログボックス

このダイアログボックスを開くには、文書を開いた状態で[ファイル]メニューの[用紙設定]を選択してください。

このダイアログボックスで設定できること



用紙サイズ



縮小/拡大



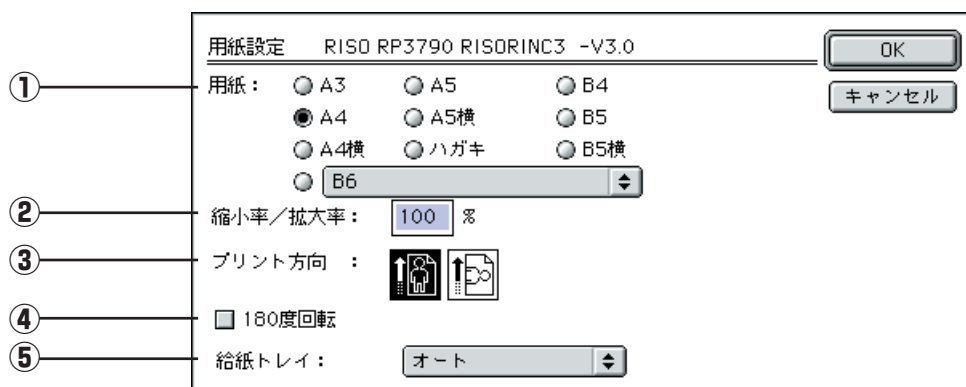
プリント方向



180°回転



給紙トレイ



①用紙



用紙サイズ

プリントする用紙のサイズを選択します。

表示されている用紙サイズのほか、[▼]をクリックしてプルダウンメニューを表示し、希望する定型用紙のサイズを選択することもできます。

参考

不定形用の紙も、あらかじめ登録することでプルダウンメニューから選択することができます。(参照 [P.27](#))

②縮小率/拡大率



縮小/拡大

原稿データを縮小・拡大してプリントすることができます。

30%~400%の間で設定できます。

③ プリント方向



印刷用紙の通紙方向にデータのプリント方向を合わせるための設定です。
用紙サイズで(横)の付く用紙を選んだときには、横通紙となりますので特に気をつけてください。

縦 (回転なし)

Mac OS上で編集した文書の用紙方向と、プリントする用紙の向き(印刷機の通紙方向)が一致する場合は、[プリント方向]は[回転なし]アイコンを選択します。

●用紙設定が縦



●用紙設定が横



横 (90度回転)

Mac OS上で編集した文書の用紙方向と、プリントする用紙の向き(印刷機の通紙方向)が異なる場合は、[プリント方向]は[90度回転]アイコンを選択します。

●用紙設定が縦



●用紙設定が横



④ 180度回転



印刷文書を180度回転させて出力することができます。
ソーターでステープルするときや、封筒などを印刷するとき 사용합니다。



重要 180度回転は印刷機側でも設定できますが、プリンタドライバと印刷機両方で重複して設定すると、180度回転されないでプリントされます。
必ずどちらか一方で設定してください。

⑤ 給紙トレイ



[オプション機器設定] ダイアログボックス(参照 [P.26](#))で[給紙トレイあり]に設定してある場合に選択します。

[▼]をクリックしてプルダウンメニューを表示し、印刷機のどこにセットされている用紙を使用して印刷するかを設定します。

[印刷機設定] 印刷機側で選択されているトレイ(または給紙台)を使用します。

[オート] 原稿データのサイズに適應する用紙がセットされているトレイを自動的に選択して使用します。

[給紙台] 給紙台の用紙を使用します。

[トレイ1] トレイ1の用紙を使用します。

[トレイ2] トレイ2の用紙を使用します。



参考 [オート]のとき、給紙台も選択の中を含むか含まないかは、印刷機の管理者設定[給紙台オート設定]で設定します。
(参照 [印刷機取扱説明書 基本編](#))

[印刷設定] ダイアログボックス

このダイアログボックスを開くには、[ファイル]メニューから[印刷] (または[プリント])を選択してください。

このダイアログボックスで設定できること



出力方法



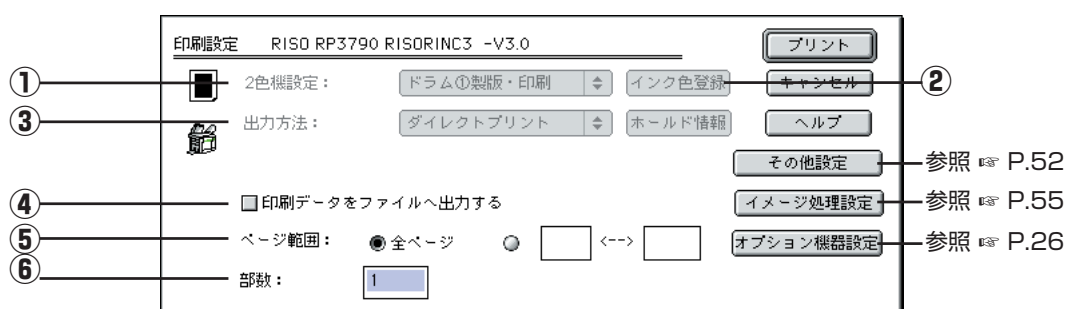
ファイルへ
出力



ページ範囲



印刷部数



① 2色機設定

■ご使用の機種では表示されません。

② インク色登録

■ご使用の機種では表示されません。

③ 出力方法



出力方法

■この設定は、[印刷設定]ダイアログボックスの[オプション機器設定]でホールドメモリの「あり」が選択されている場合のみ表示されます。

[▼]をクリックしてプルダウンメニューを表示し、出力方法を設定します。

[ダイレクトプリント] 印刷機にデータを送り、連続モードの設定に従ってプリントを開始します。プリント終了後、データは自動的に消去されます。

[プリント&ホールド] ダイレクトプリントを行い、データは印刷機に保存(ホールド)します。以後繰り返し、そのデータを印刷機の操作で呼び出してプリントできます。

[ホールド] 印刷機にデータを送り保存(ホールド)します。以後繰り返し、そのデータを印刷機の操作で呼び出してプリントできます。

参考

ホールドデータの[ジョブ名][オーナー名]は自動的にアプリケーションソフトのファイル名とお使いになっているパソコンのオーナー名になりますが、ここで変更することができます。

[ホールド情報] ボタンをクリックして、[ホールド情報設定] ダイアログボックスを開いて設定します。ここで設定した[ジョブ名][オーナー名]が、印刷機のディスプレイに表示されます。ただし、下の禁止文字は使わないでください。

禁止文字: ¥ / : , ; * ? " < > |

ホールド情報設定 RISO RP3790 RISORINC3 -V3.0

ジョブ名: デSKTOP ①

オーナー名: RISO ②

☐ 削除時に確認する ③

OK キャンセル ヘルプ

- ① ジョブ名を新規につける場合は、この欄に入力します。
- ② オーナー名を新規につける場合は、この欄に入力します。
- ③ ここにチェックすると、印刷機側でこのデータを削除しようとしたときに、確認のメッセージ(警告文)を表示します。

④印刷データを
ファイルへ出力
する



チェックすると、RISORINC形式ファイルを作成することができます。
(参照 [P.56](#))

⑤ページ範囲



印刷したいページ範囲を指定します。

⑥部数



印刷したい部数を指定します。

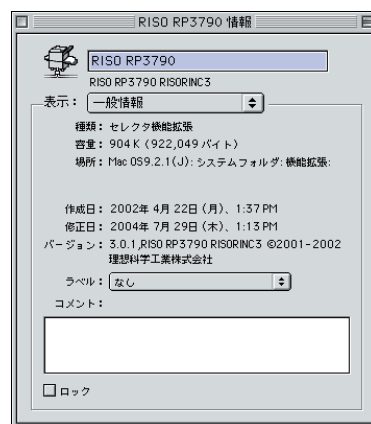
参考

バージョン情報

【バージョン確認方法】

プリンタドライバの異常などでサポートセンターに問い合わせるときに、バージョンを確認してください。

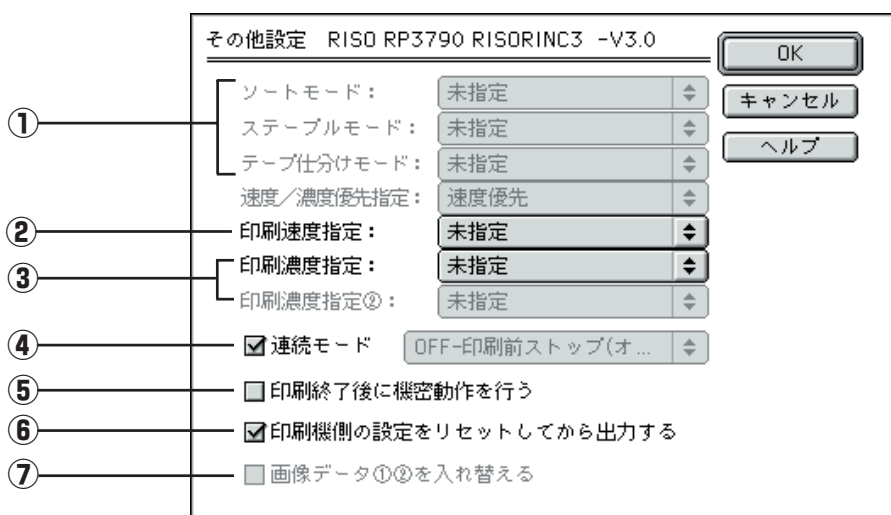
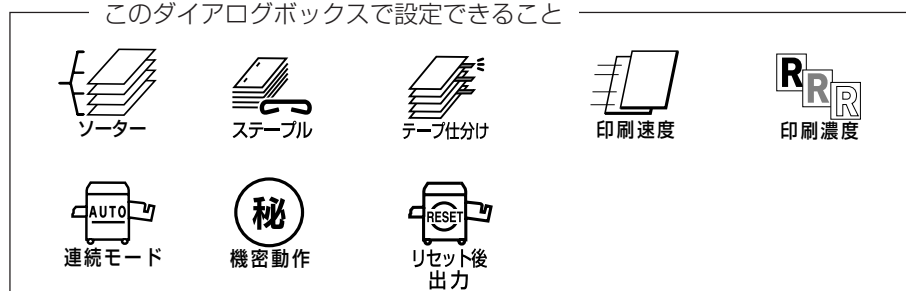
1. [システムフォルダ]内にある[機能拡張]フォルダを開き、プリンタドライバをクリックして選択する。
2. [ファイル]メニューから[情報を見る]を選択する。



[その他設定] ダイアログボックス

このダイアログボックスを開くには、[印刷設定]ダイアログボックスで[その他設定]ボタンをクリックしてください。(参照 P.46)

このダイアログボックスで設定できること



①オプションの設定



■オプション機器設定で[ソーター][テープ仕分け装置]を設定してある場合に表示されます。

ソートモード・ステープルモード・テープ仕分けモード、それぞれ[▼]をクリックしてプルダウンメニューを表示し、モードを設定します。

[未指定]を選択すると、印刷機側で設定されているモードになります。

参考

ソーター、テープ仕分け装置の機能・操作などについては、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

②印刷速度指定



印刷速度

印刷機の印刷速度を設定します。

[未指定]にしておくと、印刷機側で設定されている速度で印刷されます。

③印刷濃度指定



印刷濃度

印刷機(使用するドラム)の印刷濃度を設定します。

[未指定]にしておくと、印刷機側で設定されている濃度で印刷されます。

④連続モード



連続モード

チェックすると、印刷範囲(指定ページ)すべてのプリント(製版・印刷)を連続モードで行います。印刷前に印刷内容を確認したい場合や、ページごとに印刷をいったん止めたい場合は、チェックをはずして、印刷機がストップするタイミングを選択します。

【OFF—印刷前ストップ(オート製版)】

製版後、試し刷りを1枚出した状態で停止します。印刷物の内容を確認したり、位置を調整したりできます。その後、印刷機の<スタート>キーで印刷を開始します。

複数ページある場合は、印刷終了後、次ページの製版を続けて行い(オート製版)、試し刷りを出した状態で停止します。

【OFF—製版前ストップ(オート印刷)】

データ受信後、製版する前に停止します。用紙を載せ換えたり、ドラムを交換したりできます。その後印刷機の<スタート>キーで製版～印刷(オート印刷)を開始します。

【OFF—製版前、印刷前ストップ】

製版前、印刷前両方とも停止します。

(印刷機の通常の印刷モード(連続OFF)です。)

重要

連続モードの設定は、ダイレクトプリント(参照 [P.49](#))時にのみ有効です。(ホールド時には、この情報は無効になります。)

ホールドデータの連続モードの設定は、データを呼び出したときに、印刷機のディスプレイで設定します。

⑤印刷終了後に 機密動作を行う



機密動作

すべてのページの製版・印刷終了後、最後に製版したマスターが廃棄され、新しいマスターがセットされます。次に印刷する人に印刷内容を知られたくない場合に設定します。

**⑥印刷機側の設定
をリセットして
から出力する**



文書データを印刷機に送る前に、印刷機の設定をリセットします。
基本的には、チェックした状態でのご使用をおすすめします。

**⑦画像データ①②
を入れ替える**

■ご使用の機種では表示されません。

【イメージ処理設定】 ダイアログボックス

このダイアログボックスを開くには、[印刷設定] ダイアログボックスで [イメージ処理設定] ボタンをクリックしてください。(参照 [P.46](#))

このダイアログボックスで設定できること



文字処理



写真処理



①分版

②文字処理



文字処理

③写真処理



写真処理

■RP3/RP25/RN22/RN25/RX/RE Seriesでは表示されません。

原稿データの文字列、数字部分などに、色設定がされている場合の処理方法を設定します。

【誤差拡散】 設定されている色によって濃淡をつけて印刷します。

【強制ベタ】 設定されている色に関係なく、すべての文字を100%(ベタ)で印刷します。

原稿データの写真部分の画像処理方法を選択します。

【誤差拡散】 解像度を優先させた写真部分のハーフトーン処理を行います。

【ディザ】 階調性を優先させた写真部分のハーフトーン処理を行います。

■ 遠方の印刷機にデータを送信するには

遠方の印刷機(リモートモード)へ公衆回線を利用してデータを送信するには、送信の前に送信可能なデータ形式(RISORINC形式ファイル)を作成する必要があります。

参考

RISORINC形式ファイルは、当社製印刷機専用の印刷データ形式です。RISO Printer Driverで設定した条件がすべて書き込まれます。また、編集できないデータ(印刷専用)なので、誤って原稿の内容を変更してしまう心配もありません。

重要

本機能を使用するには以下の条件が必要となります。

- 受信側の印刷機またはコントローラーが通信印刷機能に対応していること
- 受信側の印刷機がドキュメントホールド機能を持っている場合、オプションのDM-32CFを装着していること
- 送受信側ともに独立した電話回線を通じて通信可能であること(交換機等経由している場合は正常に通信出来ません)
- 送信側のパソコンにダイヤルアップの設定等が正しく行われていること

1

プリント条件を設定する

RISORINC形式ファイルにしたい原稿データを開き、あらかじめ、[セレクト]、[用紙設定]、[印刷設定] ダイアログボックスの設定をしておきます。

重要

RISORINC形式ファイルは、必ず送信先の印刷機に対応するRISO Printer Driverで作成してください。プリンタドライバと印刷機が一致しないと、正常にプリントできないことがあります。

2

[印刷設定] ダイアログボックスを表示する

[ファイル]メニューから[印刷] (または[プリント])を選択します。必要に応じて、通常のプリントと同様に印刷条件を設定します。

3

ファイル出力を指示する

[印刷データをファイルへ出力する]のチェックマークを付け、[プリント]ボタンをクリックします。続いて表示されるダイアログボックスでファイル名と保存場所を指定して、[保存]ボタンをクリックします。

RISORINC形式ファイルが作成され、指定した保存場所に保存されます。

印刷設定 RISO RP3790 RISORINC3 -V3.0

2色機設定: ドラム①製版・印刷 インク色登録

出力方法: ダイレクトプリント ホールド情報

☒ 印刷データをファイルへ出力する

ページ範囲: ● 全ページ ○ <-->

部数: 1

プリント キャンセル ヘルプ

その他設定

イメージ処理設定

オプション機器設定

4

ファイルを送信する

送信には市販の通信ソフトをお使いください。送信の方法については、通信ソフトの取扱説明書をご覧ください。

参考

作成したRISORINC形式ファイルを送信するには、当社製通信ソフトウェア「RISORINC Manager」を使用すると便利です。(Windows専用)
送信の方法については、「RISORINC Manager」の取扱説明書をご覧ください。

こんなときには

■パソコン上でメッセージが表示されたら	60
■「故障？」と思ったとき	61
印刷できないとき	61
印刷結果が正しく得られないとき	63
その他	65

■パソコン上でメッセージが表示されたら

以下のような意味のメッセージが表示されたときは、次のように対応してください。

メッセージ	チェックポイント	対 応
プリンタの準備ができていません。電源が入ってオンラインになっているかどうか確認してください。	▶ 印刷機の準備はできていますか？ ▶ パソコンと印刷機は正しく接続されていますか？	▶ 印刷機の電源を確認してください。 ▶ プリンタケーブルやネットワークの接続を調べて、正しく接続してください。
	▶ データ（ページ数・内容）は大き過ぎませんか？	▶ データが大き過ぎると印刷機のメモリが一杯になり、データを受信できなくなります。データが大きいときは、[タイムアウト設定]の設定値を増やしてください。
現在のプリンタ設定に問題があるため印刷できません。	▶ アプリケーションソフトの設定（用紙サイズ、印刷の向き、プリンタドライバの選択など）とプリンタドライバの設定が合っていますか？	▶ アプリケーションソフトでのプリントの設定をやり直してください。 例えば[印刷]ダイアログボックスでの部数とプリンタドライバのプロパティダイアログボックスの印刷部数を合わせてください。

■「故障？」と思ったとき

「おかしいな」「故障かな」と思ったときは、サービスマンに電話をする前に次のような事項を確認してください。

[印刷できないとき]

状況	チェックポイント	対 応
印刷機のディスプレイに「データを受信しています」と表示されたままで、処理が先に進まない	▶ パソコンからのデータ送出は終了していますか？ アプリケーションソフトの印刷動作は終了していますか？	▶ ・ [プリンタ] フォルダ内のRISO Printer Driver をダブルクリックして、データの送出が終了しているか確認してください。(Windows) ・ 画面の左上に文書の縮小イメージが表示されている間は、Macintoshからのデータ送出中です。データ送出の終了をお待ちください。(Mac OS) ・ パソコンからのデータ送出が終了するまでスリープセーバーをオフの状態にしてください。
	▶ パソコン上でアプリケーションソフトの印刷動作を中断しませんでしたか？	▶ 印刷機の電源スイッチをオフにし、10 秒ほどおいて再び電源をオンにしてください。
	▶ プリンタケーブルが外れていませんか？	▶ パソコンからの出力をキャンセルしてください。コントローラの電源スイッチをオフにし、プリンタケーブルをしっかりと接続してから再び電源をオンにしてください。
	▶ アプリケーションソフトでの設定（用紙サイズ、印刷の向き、プリンタドライバの選択など）とプリンタドライバの設定内容は一致していますか？	▶ アプリケーションソフトでのプリンタの設定とプリンタドライバの設定を一致させてください。 P.34、47
印刷機が、1 枚印刷することにまた同じページを製版する	▶ アプリケーションソフトから印刷を行う際に、[部単位で印刷する] にチェックマークが付いていませんか？(Windows)	▶ ・ パソコンからの出力をキャンセルしてください。その後、印刷機の電源をオフにし、10 秒ほどおいて再び電源をオンにしてください。 ・ [印刷] ダイアログボックスで、[部単位で印刷する] のチェックを外しておいてください。
製版終了後、印刷が始まらない	▶ [連続モード] の設定を[なし]または[印刷前ストップ] にしていませんか？ 印刷機側で、「連続印刷」の設定を「OFF」または「オート印刷」にしていませんか？	▶ 印刷機の<スタート>キーを押して印刷機の動作を開始してください。

状況	チェックポイント	対応
パソコンからデータを送信しても製版が開始されない	▶ 「[連続モード]」の設定を「OFF」または「印刷前ストップ」にしていますか？印刷機側で、「連続印刷」の設定を「OFF」または「オート印刷」にしていますか？	▶ 印刷機の<スタート>キーを押して印刷機の動作を開始してください。
	▶ 印刷機で「ページスプール」をONに設定していませんか？	▶ ページスプールONの場合、前にプリントした展開データを消去しないと次のデータをプリントできません。印刷機の取扱説明書を参照して、データをクリアしてください。
	▶ プリントドライバはお使いの印刷機に対応したものに設定されていますか？	▶ プリントドライバをお使いの印刷機に対応したものに設定してからやり直してください。 P.25、32
	▶ 「[プリンタ]」フォルダ内のRISO Printer Driverを開くと、データが「印刷待ち」または「印刷中」になっていませんか？（Windows）	▶ パソコンからのデータ送出が終わるのを待ってください。
	▶ セレクタで印刷機に対応したプリンタが選択されていますか？（Mac OS）	▶ 「[AppleTalk]」の接続が「[Ethernet]」になっていることを確認し、「[セレクタ]」でプリンタの選択をやり直してください。 P.24
「[プリント]」ダイアログボックスの「[プリント]」ボタンをクリックしたのに処理できない	▶ 印刷するために必要なメモリが不足していませんか？（Mac OS）	▶ メモリを増設してください。あるいは、一時的に仮想メモリを使ってメモリを増やしてください。

[印刷結果が正しく得られないとき]

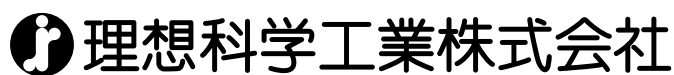
状況	チェックポイント	対 応
印刷位置全体がずれたり、端が欠けて印刷される	▶ アプリケーションソフトとプリンタドライバで設定した用紙サイズは一致していますか？	▶ 両方の用紙サイズを合わせてください。 P.34、47
	▶ 設定した用紙サイズと同じ用紙を印刷機にセットしましたか？	▶ 設定した用紙サイズ、通紙方向の通りに用紙をセットしてください。 P.34、47
	▶ アプリケーションソフトで余白は十分にとっていますか？	▶ 印刷機では、用紙の全面に印刷することはできません。アプリケーションソフトで作成した原稿を印刷機で印刷できるように余白調整してください。
	▶ 印刷機のドラムに何らかの異常がありませんか？	▶ 印刷機の取扱説明書を参照のうえ、印刷機を調べてください。
フォントが正しく印字されない	▶ アプリケーションソフトで印刷を実行するときの設定が、[プリンタのフォントを使う] になっていませんか？	▶ アプリケーションソフトで印刷を実行するときに、[プリンタのフォントを使う] の設定を使わないようにしてください。
図形が正しく印刷されない	▶ プリンタドライバはお使いの印刷機に対応したのになっていますか？	▶ プリンタドライバがお使いの印刷機に対応したもの以外に設定されているときに編集された文書では、図形などが正しく印刷できないことがあります。適切なプリンタドライバに設定して編集をやり直してください。
画像が崩れたり、縮小されて印刷される	▶ お使いの印刷機に対応したプリンタドライバに設定していますか？	▶ お使いの印刷機の解像度とプリンタドライバの解像度設定が異なると正しく印刷できません。特にRISORINC形式ファイルを作成するときは、プリンタドライバが送信先の印刷機に対応していることを確認してください。

状況	チェックポイント	対 応
[ユーザー定義用紙] ダイアログボックスで用紙登録したのに、登録した用紙が[定型用紙]のリストに表示されない	用紙登録時に [ユーザー定義用紙] ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックして終わりましたか？	用紙登録を行ったら必ず、[ユーザー定義用紙] ダイアログボックスを [OK] ボタンをクリックして終わってください。 P.9、15、21
用紙サイズが[用紙サイズ:フリー]で入力した値にならない	アプリケーションソフトの用紙サイズの設定で、フリーサイズを指定できますか？	アプリケーションソフトから[用紙サイズ:フリー]を指定できない場合は、[用紙サイズ:フリー]を使うことはできません。
[用紙サイズ]の[フリー]に値が入力できない	設定範囲を超えた値を入力していませんか？	使用できる用紙サイズは、印刷機によって異なります。設定範囲内の値を入力してください。
	全角文字で入力していませんか？	半角文字が入力できる状態にして、半角文字で入力してください。
[用紙定義 - 追加] ダイアログボックスで長い名前が入力できない	入力文字数の制限を超えていませんか？	ボックスに収まる長さで入力してください。

状況	チェックポイント	対 応
[用紙定義－追加] ダイアログボックスで[幅]・[高さ]が入力できない	設定範囲を超える値を入力していませんか？	設定範囲内の値を入力してください。
	全角文字で入力していませんか？	半角文字が入力できる状態にして、半角文字で数値入力してください。
印刷部数が入力できない	設定範囲を超えた値を入力していませんか？	設定できる値の範囲は 1 ～ 9999 です。
	全角文字で入力していませんか？	半角文字が入力できる状態にして、半角文字で数値入力してください。

[その他]

状況	チェックポイント	対 応
プリンタドライバのプロパティで、用紙サイズなどの設定が変更できない。	設定項目がグレーになっていませんか？ (Windows NT4.0/2000/XP)	プリンタの設定に関するフルコントロールアクセス権をお持ちのユーザーのみが設定を変更できます。
プリンタドライバのプロパティで、設定できない項目がある	設定項目がグレーになっていませんか？	プリンタドライバは、印刷機の機種別に用意されています。機種によっては、設定できる機能が限定されるものがあります。



営業本部／〒108-0023 東京都港区芝浦2-12-16 安藤第二ビル 電話(03)5441-6666
サポートセンター／☎0120-229-330(月～金 10:00～12:00, 13:00～17:00 祝日・当社休業日は除く)